

令和6年度 芦屋文化サロン

古典文学と兵庫の街かど

第一部 須磨・芦屋

『伊勢物語』・『源氏物語』と須磨・芦屋

講師 田辺 真人

大河ドラマ「光る君へ」の背景となった平安時代は日本の古典文学の開花期。何故あの時代に古典文学が隆盛したのか、その当時の須磨や芦屋は都人にとって、どのような場所だったのか。

阪神間の風土や文学作品の描写を考えながら、われわれの街かどをあたらしい視点で考えてみませんか。

第二部 落語

古典落語 「明石名所」(『西の旅』から)

桂 阿か枝

第三部 鼎談

田辺 真人 (兵庫津ミュージアム名誉館長 阪神シニアカレッジ学長)

桂 阿か枝 (落語家)

竹村 忠洋 (芦屋市 学芸員)



『伊勢物語画帖』より



田辺真人

関西学院大学卒業。園田学園女子大学名誉教授。県立兵庫津ミュージアム名誉館長、阪神シニアカレッジ学長、兵庫県史編集委員。ラジオ関西“田辺真人のラジオレクチャー”(毎週土曜の朝8:15から)、NHKテレビ“新兵庫史を歩く”に出演中。最新著書「神戸かいわい歴史を歩く」(神戸新聞出版センター)は、絶賛発売中。



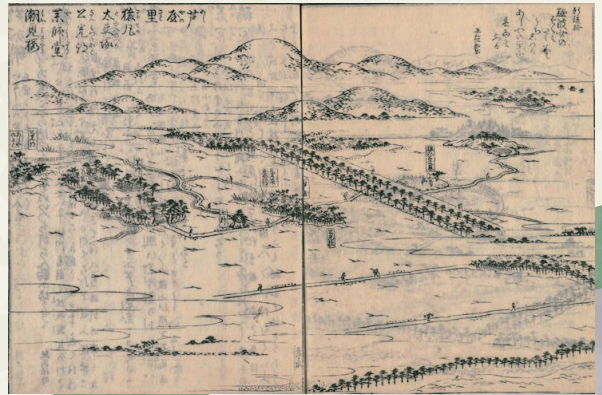
桂阿か枝

兵庫県明石市出身。岡山大学農学部卒業後、一年半のサラリーマン生活を経て、平成8年4月、五代目桂文枝に入門。最後の弟子になる。現在、大阪市の天満天神繁昌亭、神戸新聞地喜楽館を中心に、各地で落語公演を行っている。2009年「なにわ芸術祭」新人賞 2021年「第16回繁昌亭奨励賞」



竹村忠洋

芦屋市国際文化推進課文化推進係長(学芸員)。兵庫県尼崎市出身。関西大学大学院修士課程修了。1996年より芦屋市の学芸員として、市内の文化財の保存及び活用に携わり、現在に至る。主な論文に「なぜ、金津山古墳の伝説は語り継がれるのか」、「『伊勢物語』と芦屋市の「みやび」」等がある。



摂津名所図会

2024 7/5(金)
14:00 ~ 16:00 (開場 13:30)
会場 ルネサンスクラシックス
芦屋ルナ・ホール

チケット販売 5/1(水) 9:30~
全席 前売 1500円 当日 2000円 (残席がある場合のみ)
自由席 学生 1000円 (当日同料金)
芦屋市民センター事務所 (9:00-17:30, 日祝 17:00まで, 火休)
芦屋市役所売店 (平日 9:30-17:00)
ローソンチケット (Lコード: 53728)
問合せ 芦屋市立公民館 ☎ 0797-35-0700
芦屋市業平町 8-24
ashiyagawa.c@gmail.com



主催：芦屋市 芦屋市教育委員会 芦屋市立公民館